



ほけんだより

8月号



令和4年8月1日
エリナ保育園

猛暑が続いています。お天気がいい日の水遊びは、とっても気持ちよさそうです。子どもたちは、暑さの中でも夢中になって遊ぶので、水分補給には十分に気を配りましょう。たくさん体を動かした後は、モリモリご飯を食べて、しっかりと睡眠をとりましょう。元気にけがなく、楽しい夏の思い出ができますように♪

乳幼児の誤飲



シールに食べ物のイラストが描いてあり食べてしまった。

うっかり手の届くところに置いておいた大人の風邪薬を飲み込んでしまった。

パンを大きな塊でそのまま口へ入れてしまい、喉に詰まってしまった。

捨てるためにビニール袋に入れておいたボタン電池を口に入れてしまった。



詳しい情報はこちらから
見ることができます。
東京都のHPへアクセスします。



子どもはいろいろなものに興味を持ち、どんなものでも口に入れてしまいます。日頃から安全対策を心がけましょう。

- 危険なものを置かない、片付ける
- 危ないものや行動を子どもに伝える
- 応急手当の方法や相談先を日頃から確認する

応急手当の方法

喉にものが詰まったときは、背中を叩いたり胸を圧迫するなどして、とにかく吐き出させます。反応がない場合は、ためらわず 119番に連絡してください。

引用先：東京都 誤飲等による乳幼児の事故防止ガイド

夏かぜ



大人の夏かぜは症状が穏やかな場合が多いですが、子どもの場合は症状が重くなる場合があります。プールを介して感染することが多い「プール熱」や、口内炎のできる「ヘルパンギーナ」、手・足・口に水ぼうがができる「手足口病」などは、子どもがかかりやすいウイルス性の夏かぜの代表格で、症状の変化に注意が必要です。高熱が出て嘔吐などが見られる時は、医療機関を受診しましょう。予防法は、冬場とあまり変わりません。部屋の乾燥を防ぎ、手洗いをしっかり行い、バランスのよい食事をしっかりとって規則正しい生活を心がけましょう。

室内の温度調整

室内にいても熱中症になることがあります。クーラーを上手に使って部屋の温度調節をしましょう。扇風機も一緒に回すと、空気が循環して、室内の温度が一定に保たれます。お子さまが寝ている際に、時々手足を触るなどして、冷え過ぎていないかチェックしましょう。

